

(電子メール施行)
農技第 1585 号
令和3年12月16日

関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予報第7号を發表します。

令和3年度病害虫発生予報 第7号

向こう3か月の病害虫発生予想

作物名	病害虫名	発生予想	発生現況
キャベツ	黒腐病	やや少	少
	菌核病	平年並	やや少
タマネギ	白色疫病	やや少	少
	細菌性病害	平年並	平年並
	べと病	やや少	少
	ネギアザミウマ	平年並	平年並
ネギ	ネギアザミウマ	やや多	やや多
レタス	灰色かび病	やや少	少
	菌核病	平年並	やや少
	腐敗病	やや少	少
	ビッグベイン病	平年並	やや少
イチゴ	灰色かび病	やや少	少
	うどんこ病	平年並	平年並
	アブラムシ類	やや少	少
	ハダニ類	平年並	やや少

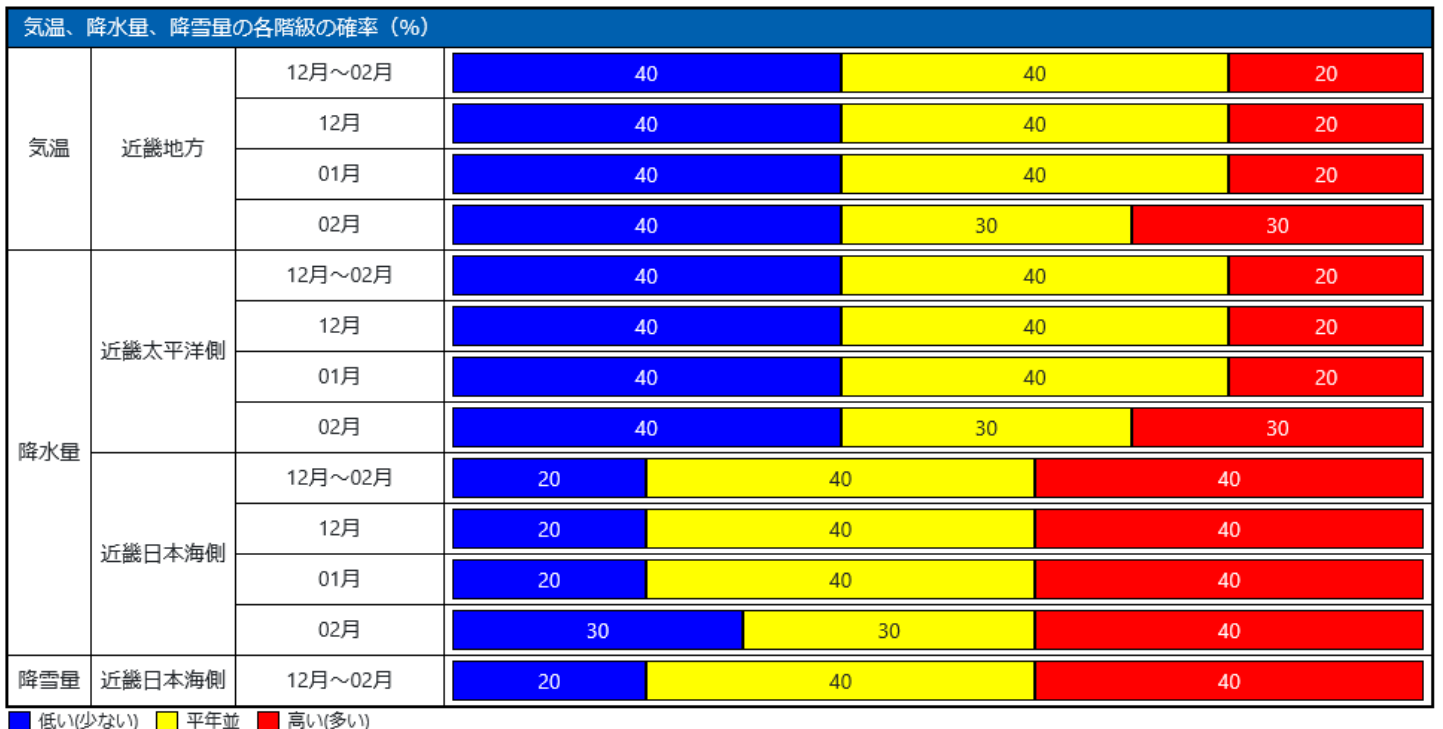
* 気象の概況

近畿地方 3か月予報
(12月から2月までの天候見通し)

令和3年11月24日
大阪管区气象台 発表

<予想される向こう3か月の天候>

近畿地方 3か月予報(12月~02月)		
2021年11月24日14時00分 大阪管区气象台 発表		
12月~02月	気温	平均気温は、平年並または低い確率ともに40%です。
	降水量	降水量は、近畿日本海側で平年並または多い確率ともに40%、近畿太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。
	降雪量	近畿日本海側の降雪量は、平年並または多い確率ともに40%です。
12月	天候	近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、平年並または低い確率ともに40%です。
	降水量	降水量は、近畿日本海側で平年並または多い確率ともに40%、近畿太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。
01月	天候	近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、平年並または低い確率ともに40%です。
	降水量	降水量は、近畿日本海側で平年並または多い確率ともに40%、近畿太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。
02月	天候	近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。



* 発生概況及び防除対策上の留意点

キャベツ

1 【黒腐病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の場内圃場（南あわじ市）、現地圃場とも発病は確認されていない。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並、降水量は太平洋側で少ない～平年並、日本海側で平年並～多いと予想されており、本病の発生が見られるようになると考えられる。

2 【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の場内圃場（南あわじ市）では発病は確認されていないが、11月中旬の現地調査ではやや少ない発生が確認されている。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並、降水量は太平洋側で少ない～平年並、日本海側で平年並～多いと予想されており、本病の発生が平年並になると考えられる。

タマネギ

1 【白色疫病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の場内圃場（加西市、南あわじ市）、現地圃場とも発病は確認されていない。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並、降水量は太平洋側で少ない～平年並、日本海側で平年並～多いと予想されており、本病の発生が見られるようになると考えられる。

2 【細菌性病害】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の場内圃場（加西市、南あわじ市）、現地圃場とも発病は確認されていないが、苗床（南あわじ市）では、前年と同程度の発生が確認されている。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並、降水量は太平洋側で少ない～平年並、日本海側で平年並～多いと予想されており、発生は平年並で推移すると思われる。

3 【べと病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 12月上旬の場内圃場（加西市、南あわじ市）、現地圃場とも発病は確認されていない。
- イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並、降水量は太平洋側で少ない～平年並、日本海側で平年並～多いと予想されており、本病の発生が見られるようになると思われる。

4 【ネギアザミウマ】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 12月上旬の場内圃場（加西市）では、成虫4頭/25株（平年値15.2頭）、幼虫7頭/25株（同7.0頭）の発生が確認されている。同時期の現地調査では、寄生株率5.0%（前年同期値7.6%）で前年と同程度の発生が確認されている。
- イ 冬季は繁殖等の活動活性が低下するものの、越冬個体群が現状のまま引き継がれるため、発生は平年並で推移すると考えられる。

ネギ

1 【ネギアザミウマ】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多
- (2) 予報の根拠
- ア 11月下旬の場内圃場（加西市）では、被害葉率38.7%（平年値28.4%）とやや多い発生であり、同時期の現地調査では被害葉率8.3%（前年同期値9.8%）、発生圃場率50.0%（同50.0%）であった。
- イ 冬季は繁殖等の活動活性が低下するものの、越冬個体群が現状のまま引き継がれるため、やや多い状態で推移すると考えられる。
- (3) 防除上の留意点
- ア 薬剤防除は地域の防除暦に従って実施して、圃場内の密度を下げるようにする。薬剤散布にあたって散布ムラがないよう丁寧に、かつ薬液が十分付着するように行う。
- イ 薬剤防除を行う場合は、病虫害・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、同系統の薬剤の連用は避ける。
- 病虫害・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）
(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)
- ウ 圃場内外の雑草や収穫後の残渣は、本種の増殖源やIYSVの感染源になるので、除草や残渣処分を徹底する。
- エ 光反射シート、シルバーマルチの利用や圃場周辺を囲う赤色ネットの設置も効果がある。

レタス

1 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の場内圃場（南あわじ市）、現地圃場とも発病は確認されていない。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並、降水量は太平洋側で少ない～平年並、日本海側で平年並～多いと予想されている。栽培現場ではトンネル被覆をすることから、本病の発生が見られるようになると考えられる。

2 【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の場内圃場（南あわじ市）では発病は確認されていないが、同時期の現地調査ではやや少ない発生が確認されている。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並、降水量は太平洋側で少ない～平年並、日本海側で平年並～多いと予想されている。栽培現場ではトンネル被覆をすることから、平年並の発生になると考えられる。

3 【腐敗病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の場内圃場（南あわじ市）、現地圃場とも発病は確認されていない。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並、降水量は太平洋側で少ない～平年並、日本海側で平年並～多いと予想されている。栽培現場ではトンネル被覆をすることから、本病の発生が見られるようになると考えられる。

4 【ビッグベイン病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の場内圃場（南あわじ市）では発病株率27.5%（前年値34.0%）とやや少ない発生が確認されている。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並、降水量は太平洋側で少ない～平年並と予想されている。本病が土壌病害であることと本病を媒介する *Olpidium virulentus* が圃場内に一定量存在することが予想されることから、平年並の発生になると考えられる。

イチゴ

1 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の現地調査では発病は確認されていない。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並と予想されているが、施設内

は高温多湿になりやすく、今後、本病の発生が見られるようになると考えられる。

2 【うどんこ病】

(1) 予報の内容

発生量： 平年並

(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の現地調査では発病株率9.0%（前年同期値5.0%）、発生圃場率75.0%（同50.0%）の発生が確認されている。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並と予想されており、発生は平年並で推移すると考えられる。

3 【アブラムシ類】

(1) 予報の内容

発生量： やや少

(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の現地調査では発生は確認されていない。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並と予想されているが、施設内はアブラムシ類に好適な条件になりやすいことから、今後、発生が見られるようになると考えられる。

4 【ハダニ類】

(1) 予報の内容

発生量： 平年並

(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の現地調査では発生は確認されていないが、同時期の場内圃場でわずかに発生が確認されている。

イ 今後の3か月予報によると、気温は低い～平年並と予想されているが、施設内はハダニ類に好適な条件になりやすいことから、増殖が進み平年並の発生になると考えられる。

* この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載
(<http://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>)